

学校教育目標（具体目標）

- ・健康でたくましい子
- ・豊かな心、思いやりのある子
- ・よく考え、学び合う子



柏っこ

令和3年度
第8号

学校だより

令和3年11月26日
海老名市立柏ヶ谷小学校
校長 麻生 仁
電話 046-231-1630

やさしさ

校長 麻生 仁



「人にやさしくしましょう」「おもいやりをもちましょう」などは、小さい頃から、人として生きる上で大切なこととして誰もが教えられてきたことです。

これらを言葉で呼びかけたり、言葉で教えたりすることは簡単かもしれませんが、

「あなたは日ごろから、実際に行動としてあらわしていますか？」

と問われれば、自信をもって、「はい。」と言える人は、私たち大人も含め、どれくらいいるでしょうか。こんなことを考えさせられたエピソードを2つ紹介します。

【エピソード1】

地域に住む、2歳半になる娘さんをもつ、あるお父さんからの電話の内容です。

「昨日、2歳半になる娘と病院へ行く途中、娘が道端で転んでしまった。そこに、ちょうど下校途中であろう柏ヶ谷小の児童（2～3年生くらい）が通りかかり、激しく泣いている娘に優しく声をかけてくれた。そのうちの1人の女の子は、絆創膏までくれたので、娘はとても喜んでいました。このご時世で、小学生に名前を聞くわけにもいかなかったのですが、せめてお礼の気持ちを伝えたく、学校に電話させていただいた。ありがとうございました。」

その日の各学年の下校時刻を確認したところ、2年生であることがわかりました。そして、2年生に思い当たる人がいるかどうか、担任の先生経由で聞いてもらいました。すると、男児3名、女児1名が、自分たちであると名乗り出てくれました。学校の中では、まだまだ自分のことで精一杯、先生や上級生にサポートしてもらうことが多い2年生です。そんな2年生が、自分たちよりも幼い子を思いやり、助けてあげる行動を誰の指示でもなく、自主的に行えるとは、なんて素敵で、嬉しい話なのでしょう。小さな体に備わった、大きくやさしい心に感動をもらったので、オリジナルのミニ表彰状を作り、この4名に渡しました。そこにはこんな一文を載せました。

いつでも、どこでも思いやりのある行動を心がけ、周りの人を幸せにしてください

【エピソード2】

全校の先陣を切って、秋の遠足を実施した1年生を昇降口で手を振って見送りました。私の「行ってらっしゃい！」の声に、「行ってきま～す！」と大きな声で応える1年生。初めての遠足で心躍っている様子が、その表情から伝わってきました。相鉄線でかしわ台駅から相模大塚駅まで行き、

徒歩で大和市泉の森に行くという行程の遠足でした。

午後になり、ケガやトラブルなどもなく、これから帰路につくという連絡が、引率教員から入りました。その日の午後、私は本厚木までの出張が入っていたのですが、タイミング的に、かしわ台駅で1年生をちょうど出迎えることができました。ホームから、元気よく階段を上って、改札前に続々と1年生が集まってきます。

「お帰りなさい!お疲れさま~!」と声をかける私に気づき、

「あれ?校長先生、何でここにいるの?」などと、多くの児童がびっくりして聞いてきました。

「校長先生はこれから本厚木に出張に行くんだよ。これからちょうど電車で出かけるところなの。」と説明すると、「へ~。そうなんだ~。いってらっしゃ~い。」「出張頑張ってるね~。」「気を付けてね~。」などの声がたくさん返ってきました。ほんの数時間前、私に送り出されて遠足へと出発していった1年生が、遠足の疲れも見せず、今度は出張に出かける校長の私を元気な声で見送ってくれたのです。少々重い内容の出張だったのですが、この声かけにより、心と足取りが軽くなったことは言うまでもありません。裏表や忖度のない子どもたちの言動から、我々大人が忘れかけていた純粋な「やさしさ」を思い起こされることは少なくありません。

ココア ありがとう。そして、さようなら。

去る11月22日(月)に本校で長年飼われ、愛されてきた、うさぎのココアが亡くなりました。学校だより第3号、第4号で紹介したうさぎです。少なくとも、6年生が入学する前から、柏ヶ谷小学校でずっと愛され、可愛がられてきました。

人間で言えば、90歳とか100歳くらいに相当する長生きだそうです。特に飼育委員のみなさんには、毎日、献身的な世話を続けてもらっていました。ココアは、歯や目に病気があったので、学校が休みの日も教職員が交代で薬をあげに来ていました。最近では、後ろ足が動かなくなり、ほとんど寝たきりの状態になっていました。何とか一日でも長く生きてほしいという、柏小のみんなの思いを感じて、ココアも病気や痛みと闘いながら、必死に頑張っていたように思います。

全校放送でこの事実を伝え、昼休みには、児童を代表して、飼育委員のみなさんに集ってもらい、静かに眠るココアの周りに献花してもらいました。その後、大和市にある動物専用の共同墓地に連れていき、埋葬していただきました。ココアの相棒のカルピスは、一人(一羽)になって、少し寂しそうに見えますが、病気などはなく元気なので、引き続き児童や教職員に可愛がられながら、元気に過ごしてほしいと思います。

教科書からだけでは決して学ぶことができない、人として生きる上で大切な気持ちを学校全体で学ぶことができた一日となりました。



【ココア(左)とカルピスの肖像画】